

令和2年度の講演会、ランチミーティング、会員機関への直接訪問及び実務者レベル（若手）交流会の実施について（案）

令和2年度の企画調整員会では、事業計画において講演会等の取組みは以下のとおり計画されているが、新型コロナウイルスの終息のメドが立たないため、なるべく密を避ける必要があることから、本件に関して開催の有無を検討することとする。

①会員相互の交流の推進

- ・総会時講演会：令和2年度中実施予定、今後調整
- ・ランチミーティングの開催：令和2年度中実施予定、今後調整

②委員会での主要となる取組・検討

- ・企画調整委員会による会員機関への直接訪問（継続）
- ・実務者レベル（若手）交流会を持ち回り又は自主的な実施の推奨等を検討

<参考>

・総会時講演会

当協議会の活動の一環として、筑協研究学園都市の活性化や会員の連携強化に向けて、国内外の科学技術や研究開発等の最新の同行などについて知見を深める目的として実施。

昨年度は、飯塚茨城県産業戦略部技術振興局長及び大澤筑波大学システム情報工学研究科長が講演された。

・ランチミーティング

筑協会員の情報交換や交流の場を提供することを目的に、会員機関の施設見学や講演を実施。

昨年度は、アステラス製薬株式会社つくば研究センター（令和2年2月6日（木）11:00~14:00）にて実施した。

・企画調整委員会による会員機関への直接訪問（継続）

筑協活動の機能の再確認・検討等を踏まえ、平成30年度より筑協委員会委員が会員企業に訪問し、意見交換等を実施されているものである。

平成30年度は、学校法人茗溪学園中学校高等学校、つくば市商工会、安藤ハザマ技術研究所、株式会社クラレつくば研究センター、NTT アクセスサービスシステム研究所の5機関で実施した。令和元年度は、令和元年12月20日に実施した令1期第2回筑協委員会にて次ページの通り訪問先を審議したが新型コロナウイルスの関係で訪問は実施しなかった。

・実務者レベル（若手）交流会

会員機関に在籍する実務者レベルの方（若手の研究者・技術者等）や学生等の情報交換や交流の場を提供することを目的に、平成30年度から会員機関持ち回りで開催している。

令和元年度は、令和2年1月29日に伊藤 俊一郎氏（AGREE GROUP CEO/医師）、令和2年2月26日に鈴木 健嗣氏（筑波大学システム情報系教授）による実務者レベル（若手）の交流会をつくば市の協力により開催した。

<参考：令和1期第2回筑協委員会議事次第>

筑協委員会委員による会員機関への直接訪問先（案）

会員機関がもつそれぞれの特色や機能を踏まえ、下記の3機関を選出した。

<特色・機能の分類> 行政／研究／教育／都市基盤

国立大学法人筑波技術大学

▶ 障がい者を対象とする高等教育機関。

障がい者支援の観点からのつくばのまちづくり・筑協への意見

一般社団法人つくば観光コンベンション協会

▶ フィルムコミッションや国際会議開催時の支援を事業に掲げている。

観光やM I C Eの観点からのつくばの魅力発信・筑協への意見

株式会社フジキン 万博記念 つくば先端事業所

▶ 1989年からつくばに立地。

研究機関・企業の観点からのつくばの機関連携・筑協への意見